

<全体分析>

試験時間 120分

解答形式

記述式(数値, 文字式, 構造式)

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

前年同様, 大問数は15題(正誤選択は8題(前年は7題), 計算問題は6題(前年は7題)), 設問の総数は19題であり, 全体の分量もほぼ同じであった。また, 難易度も同程度であった。

出題の特徴や昨年との変更点

正解が1つまたは2つの正誤問題が出題される。解答形式はほとんどが数値記述であるが, 一部に文字式や構造式を記述する設問も含まれる。

例年, 出題分野のウェイトは理論>有機>無機の順である。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第I問					
1	正誤選択	無機	化学	典型元素(一部, 遷移元素も含む)の性質と反応	やや易
2	正誤選択	無機	化学	金属イオンの系統分離, 金属元素の性質と反応	標準
3	計算	理論	化学	銅の電解精錬	標準
4	計算	理論	化学	ハロゲン化銀およびクロム酸銀の溶解平衡	やや難
5	正誤選択	理論	化学	単純立方格子, 体心立方格子, 面心立方格子	標準
第II問					
6	正誤選択	理論	化学基礎・化学	物質の構成, 物質の状態	やや易
7	正誤選択	理論	化学	化学反応とエンタルピー変化	やや易
8	計算	理論	化学	反応速度	標準
9	計算	理論	化学	気相平衡(水素, ヨウ素, ヨウ化水素の可逆反応)	標準
10	計算	理論	化学	密閉系における酸素の水への溶解	標準
第III問					
11	計算	有機	化学	アクリロニトリル-ブタジエンゴム	やや易
12	正誤選択	有機	化学	分子式 C_6H_{12} のアルケン	標準
13	正誤選択	有機	化学	芳香族化合物の性質と反応	やや易
14	正誤選択	有機	化学	天然高分子化合物	易
15	記述	有機	化学	有機化合物の構造決定	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

全分野にわたって, 標準的な練習問題を十分に学習すること。標準的な問題を確実に得点することが重要であり, いたずらに難問の演習をしてもあまり意味がない。

過去問の研究を怠らず, 解答形式などにも慣れておくこと。